

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

★進捗シートの活用

各教科等の学習で、自由進捗学習を取り入れた。その際に、進捗を把握できるようにするために、右の図のような進捗シートを活用した。進捗具合を教員が把握し、個別に指導を行うことができた。また、生徒間で進捗具合を把握することで、生徒同士で教えたり、教わったりするなどの活用もできた。

グローバル・スタディ科で使用している進捗シート

★クラウド環境を活用した協働的な学び

デジタルホワイトボードを使って、クラウド上で意見を共有しながら学習を進めた。生徒の学習進度や内容把握が容易になった。生徒は困ったときに他の生徒の考えを参照するなど、情報の収集のコンテンツとして活用していた。

★社会の授業で使ったデジタルホワイトボード

表の中に全員で付箋を挿入しているので、他の意見が把握しやすい。

★総合的な学習の時間で使ったワークシート

クラス全員分のワークシートを用意して、共有できる形にし、どのようにまとめたかを互いに参照できるようにした。

数学科で使用している進捗シート

★振り返りシートの共有

振り返りシートを共有することで、協働が図られ、表現が苦手な生徒への支援になった。文字数が少なかった生徒も、回数を重ねるにつれて振り返りの文字数が増えていった。

★学級活動の時間に使用した振り返りシート

学年で同じことを行うので、全クラス同じように設置されている。

[illegible]

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校【指定校】

【取組内容】 端末の日常的な活用

端末の活用を日常化するために、授業以外での活動にも積極的に取り入れた。

★部活動指導での活用

部活動専用のチャンネルを設置した。ほぼ全ての部活動が、連絡の手段として活用している。指導に必要な情報を提示し、指導に活用している。

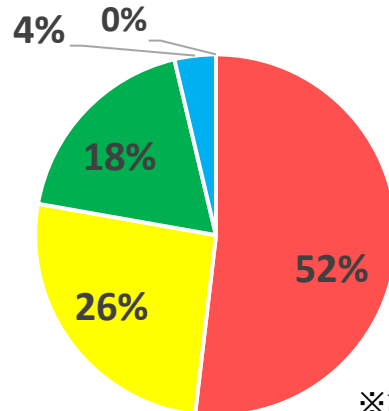
★クラスへ連絡の配信

クラスへの連絡を学校全体でMicrosoft Teams上で行う運用とした。このことにより、生徒は連絡ノートに連絡を転記する時間を削減できた。また、欠席の生徒が出た場合にも電話連絡をせずに伝達することが可能になった。右下のグラフの通り、教職員を対象にした調査ではクラス担任の78%が負担軽減につながったと回答した。



Teamsで次の日の連絡事項を行うことで、担任の業務負担が軽減されていると感じますか？【令和6年度木崎中学校学級担任調査 27名】

- 評価 5
- 評価 4
- 評価 3
- 評価 2
- 評価 1



※評価 5 が最も肯定的な回答

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校【指定校】

【取組内容】 端末の日常的な活用

★委員会活動での活用

○冬の校外学習（スキー実習）実行委員

校外学習の目標、スローガン、持ち物、ルール等を実行委員内で話し合いをする際、以前は紙媒体で個々で考えさせていたところを、クラウドを活用した。

今までの実行委員会では、考えてきた意見を一人ずつ提示するところから始めていたが、クラウドの活用によって全員の意見を参照した状態から始めることができ、会議の時間を大幅に削減することができた。

○ポスター作成

学級委員会や保健委員会ではポスターを廊下に貼って呼びかけをしていた。今年度はデジタルデザインソフトを活用してポスターを作成させた。

○連絡の手段としての活用

部活動同様、委員会のチャンネルを設置して、連絡の手段として用いた。データの添付やクラウド上の課題を見ることができた。

持ち物①【理由も含めて】

- ・ 防寒具(ジャンパー・ネックウォーマー・ウィンドブレーカー・手袋 等) 寒さ対策のため
- ・ カイロ(必要の人) 寒さ対策のため
- ・ 着替え3日分(厚手の服) ジャージ 2日分と予備のため
- ・ 寝巻き 泊まるから
- ・ 歯ブラシ&歯磨き粉 歯を磨くため
- ・ ハンカチ&ティッシュ 手をふくため
- ・ エチケツ袋 バスなどで気持ち悪くなった時のため
- ・ ゴミ袋 ゴミを捨てるため
- ・ 酔い止め薬(乗り物酔いする人)

質の良い睡眠をとるためには

- 規則正しい生活
- 運動習慣を持つ
- 寝る2〜3時間前の入浴
- 朝、起床後に光を浴びる
- 食生活
- 昼寝を好意的に利用する
- 室内環境を整えよう
- よく眠れる寝具を選ぶ

愛 love 友 ~ I love you ~

人を愛するという「Love」の気持ちは、相手を認めたり、尊重したりといったことにつながります。私たちのクラスでは人を愛するという「愛情」を大切に、信念としていきます。このスローガンに込めた「愛情は友を好く」、それは愛情を持っていれば友達はずっと自然と増えていくことを表します。クラス全員が愛情を持ち続け、友達を好んでいくことを目指します。

07/17 8:47 編集済み

3分前入室グランプリ結果発表

先生、印刷をお願いします。

3分前入室グランプリ結果発表	
1 位	33 人
2 位	54 人
3 位	42 人
4 位	43 人
5 位	22 人
6 位	58 人
7 位	41 人

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校【指定校】

【取組内容】校務DX 日報のデジタル化

職員間の伝達を簡易化するために、日報のデジタル化を行った。事前にExcelに連絡を入力し、Power Automateで設定しておくと、8:00に所定のMicrosoft Teams上のチャットに自動で送られてくる。連絡をしたい日のセルにあらかじめ入力しておくこともできる。

また、これまで紙に印刷をして配布していたので、その分の業務時間が削減された。本校では印刷してからコピーし、全職員に配布されるまで約6分ほどかかるので、1年間で6分×205日＝1230分（20時間30分）の業務時間の削減につながったと考える。

Power Automateで設定

Teamsに8:00に自動で投稿

日報のデジタル化

日報の紙印刷をデジタル化する
 A4用紙職員分66名×年間205日=13,530枚
 A4サイズの束は1冊500枚なので
 年間で27.06冊削減

また、1冊 484円なので、
年間 1冊 484円×27.06冊=13,097円 コストカット！

印刷する必要がなくなったので、コストカットも期待される。

日報のデジタル化

さらに、
 インク代1本 10000枚 2640円 → 1枚 0.264円
 マスター 1巻 200版 → 1版 34.1円 を含める

日報 年間で13530枚より、インク代 $13530 \text{ 枚} \times 0.264 \text{ 円} = 3,572 \text{ 円}$
 マスター使用205版より、 マスター代 $205 \text{ 版} \times 34.1 \text{ 円} = 6,991 \text{ 円}$

※小数第1位を切り上げた計算

コピー代用紙代含めた計算

つまり、**13,097円+3,572円+6,991円=23,660円**の
日報のデジタル化は1年間で23,660円の
コストカットをもたらす！

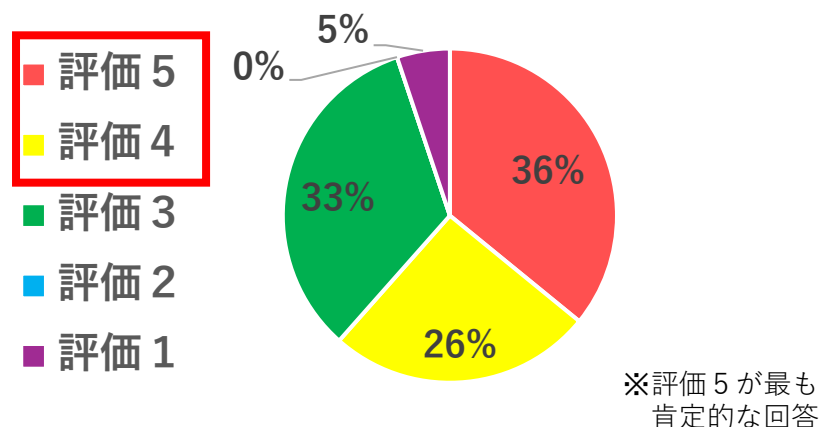
リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校【指定校】

【取組内容】 GIGAスクール構想に係る職員の組織編制の工夫

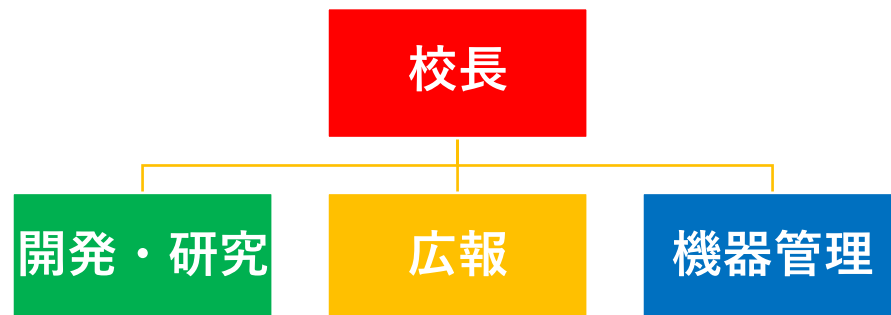
令和5年度まで、ICT教育推進担当が、端末の管理や1人1台端末を活用した研修会の開催等、GIGAスクール構想に関わる業務をすべて行っていた。その結果、担当者への負担が過重となり、本来の業務に十分な時間を割けなかったため、令和6年度から、校内のICT教育推進に係る組織再編を行い、業務分担の平準化を図った。

下のグラフはGIGAの組織編成に関する本校職員に向けてアンケートを行った結果である。62%の職員から肯定的な回答が得られた。



肯定的な回答の理由

- 積極的にICTを使うことがない教員も、組織再編することでICTに関わる機会ができ、それが授業などでICTを活用するハードルを下げたように感じたから。
- 全教職員が関わる体制になり、学校全体で取り組む機運が高まったため。



開発・研究担当

ICTに関わる校内研修の計画や実施、校外の研修に参加。

◎研究推進主任がマネジメントを行う。

★各学年2～3名

広報担当

○学校ホームページのブログの更新（1週間に最低1回、各学年ローテーション）

○アプリでお便りを配信（学校だより、学年だより、給食だより、学校図書館だより、保健だより等）

◎教頭がマネジメントを行う。

★上記の担当以外の学年職員（特別支援学級も含む）＋教務主任＋栄養教諭＋司書教諭＋養護教諭

機器管理担当

生徒・職員の端末の管理、修繕依頼。

◎本校は技術科の教員がマネジメントを行う。

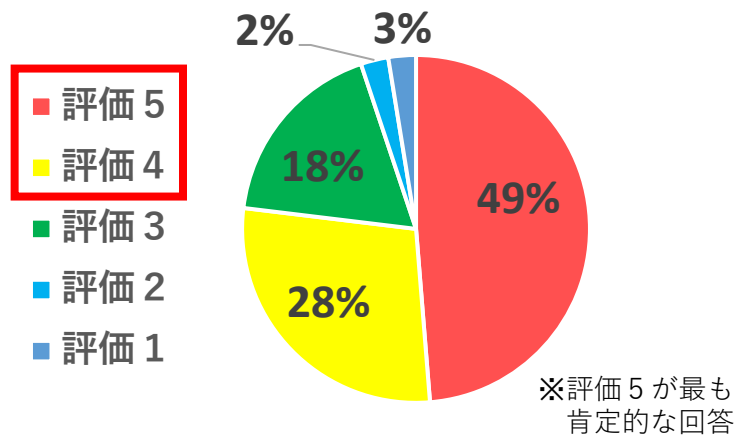
★各学年2名

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校【指定校】

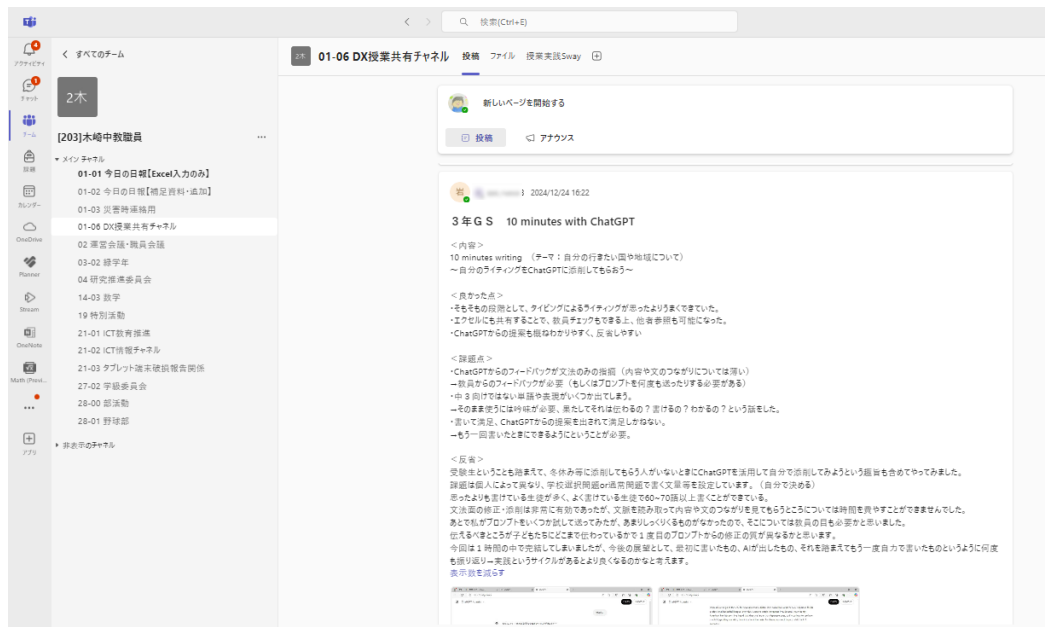
【取組内容】 実践事例の共有

Microsoft Teams内に「DX授業チャンネル」を設置して、デジタルを活用した学び方改革に関わる実践例をクラウド上で共有した。「開発・研修」担当が主に投稿をした。学期に1回全教員が投稿した。下のグラフは「DX授業チャンネル」についての職員内評価である。77%の職員が肯定的な回答をした。



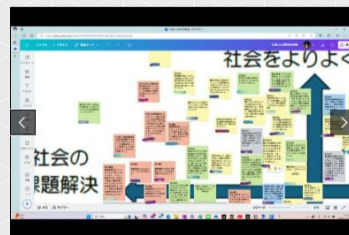
肯定的な回答の理由

- 多くの「生きた」実践例が手軽に確認できるから。
- 教科を超えて学び合えることが素晴らしいと思います。
- 教職員同士のチャレンジや行っていることが目で見てわかるので、学びにつながる部分があったと思います。
- いろいろな実践を見ることができた。また、研修担当の先生からアドバイスをもらえた
- 他の先生の投稿内容を参考にするというよりも、自分の授業改善のためにアウトプットするスペースとして役立っている。
- 外部の研修で使いやすい。



また、Microsoft Swayを活用し、木崎中学校授業実践の独自のサイトを作成した。リンクを共有し、さいたま市内に実践を広めることができた。

社会



保健体育

